

講義情報

講義情報番号	
講義表題情報	
* 開講学年1	1
* 入学年度1	2021～
* 対象学科1	健康スポーツ科学科
* 科目名1	リーダーシップ論
担当教員情報	
* 担当教員	庄司 直人
講義詳細情報	
* 講義目的・講義内容	リーダーシップを実践する際の裏付けとなる理論を体系的に学習する。変化に富む現代において、組織を素早く適応・変革することのできる人材、または社会に変化を生み出すことのできる人材になるために必要なリーダーシップ理論を学習する。
* 到達目標	リーダーシップを発揮する各場面・局面で、何が求められるか理論を参考にしながら判断し実行することができる。講義を通して検討した事例から教訓を引き出し、自身が直面する課題解決に応用することができる。
* 授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実践家の日常と理論(グループワーク) 事前学修: リーダーシップとは何か?について検討する 2時間 事後学修: 実践と理論の関連を検討する 2時間 2. スポーツ組織におけるリーダーシップ 事前学修: スポーツ組織の特徴を考えどのようなリーダーシップが求められるか検討する 2時間 事後学修: リーダーシップはいつ誰が発揮するのか、リーダーシップとマネジメントの違いを検討する 2時間 3. リーダーシップ研究の史的展開 事前学修: リーダーシップの定義を検討する 2時間 事後学修: リーダーシップ研究の流れを整理する 2時間 4. 特性論(グループワーク) 事前学修: 良いリーダーに共通する特性について検討する 2時間 事後学修: リーダーシップにおいて人の特性はどのような意味を持つか検討する 2時間 5. 行動論 事前学修: 良いリーダーに共通する行動があるか検討する 2時間 事後学修: リーダーシップにおける基本的な2つの行動について検討する 2時間 6. 状況適合理論(グループワーク) 事前学修: どのような状況でどのようなリーダーシップが必要か検討する 2時間 事後学修: メンバーの意欲や成熟度によりリーダーシップの発揮の仕方をどう変えるか検討する 2時間 7. 変革型リーダーシップ 事前学修: 変革型リーダーシップとカリスマについて検討する 2時間 事後学修: 変革型リーダーシップにおいてカリスマはどのように意味を持つのか検討する 2時間 8. フォロワーに着目したリーダーシップ理論(グループワーク) 事前学修: 交換型リーダーシップ、LMX理論について検討する 2時間 事後学修: LMX理論におけるイングループとアウトグループがどう規定されどういう結果が齎されるか検討する 2時間

	<p>9. オーセンティック・リーダーシップとサーバントリーダーシップ(グループワーク) 事前学修: オーセンティシティとサーバントであることとはどういうことか検討する 2時間 事後学修: 内面にある真の自己と行動の一致、公に奉仕することの意味を検討する 2時間</p> <p>10. メンバーの知恵を結集する: 知識創造・チーミング(グループワーク) 事前学修: 変化に適応しイノベーションを生み出すために必要なリーダーシップを検討する 2時間 事後学修: SECIスパイラルモデル、チーミングについて検討する 2時間</p> <p>11. グッドコーチのリーダーシップ 事前学修: パワーとエンパワーメントについて検討する 2時間 事後学修: 倫理的なリーダーシップ、インテグリティを引き出すリーダーシップについて検討する 2時間</p> <p>12. リーダーシップ開発 事前学修: リーダーの育成とリーダーシップ開発の違いを検討する 2時間 事後学修: リーダーシップ開発とチームビルディングの関連について検討する 2時間</p> <p>13. 組織変革 事前学修: 組織変革モデルを調べ整理する 2時間 事後学修: 組織変革のうち一つを取り上げ事例研究を行う 2時間</p> <p>14. チームビルディング 事前学修: 組織開発とチームビルディングの理論を整理する 2時間 事後学修: 交流分析に基づく実践事例を検討する 2時間</p> <p>15. 自論(持論)を作り上げる 事前学修: 自論(持論)をまとめ 2時間 事後学修: 自論(持論)を練り上げる 2時間</p>
* 履修の条件・注意事項	<p>質問は講義中、講義後など随時受け付ける。 定期試験はテキスト(教科書)、自筆ノート(コピー不可)を持ち込み可とする。</p>
* 成績評価基準・方法	<p>定期試験(50%)、課題(30%)、取り組み状況(20%)により総合的に評価する。なお、遠隔になった場合は、定期試験(50%)、課題(50%)により評価する。</p>
* テキスト	<p>『リーダーシップ理論の新機軸』水野基樹(編著)、創成社、2025年3月刊行</p>
参考書	<p>都度紹介する</p>